



NEWS ECO



シブヤパイピング工業株式会社

TEL 052-221-6911 FAX052-201-9681

URL <http://www.shibuya-p.com>

梅雨の合間の青空から射す日差しは強く、夏本番を思わせる蒸し暑い日が続いています。梅雨末期の集中豪雨の被害を伝えるニュース映像をテレビが映し出しています。火山活動、地震と相俟って大きな災害とならないことを願うばかりです。

そんな中でも授業でプールに入り既に夏モードの元気な子供たち。7月16日は“海の日”。子供たちにとって待ちに待った“夏休み”はもうすぐです。

小さなお子さんをお持ちの方は、夏休みの計画を家族であれやこれやと夕食を囲みながら楽しく話し合っていることでしょうか。

小学校の子供たちが1学期の終業式に持って帰ってくるものに、学校で育て、観察日記をつけていた鉢植えがあります。

20~30年前までは“アサガオ”が主流だったように思うのですが時代は変わって“ミニトマト”という小学校も多いようです。

水をやるだけでなく、自分で育てたトマトを家族で食べることが出来れば夏休みの観察日記を書くのも楽しいものとなることでしょう。

元気な子供や孫と楽しく夏を楽しむためには、35℃に近い真夏の最高気温と戦いながら無事故、無災害で現場をすすめて行かなければなりません。体調管理の難しい季節ですが睡眠を十分に取るよう工夫し、熱中症にならないように過酷な夏を乗り切りましょう。



睡蓮(スイレン)が3年ぶりにシブヤの裏庭で花を咲かせました。一昨年の冬越しの際に、新芽を“毛虫”に食べられてしまい、復活するの

に2年かかりました。日当たりがあまりよくないため、数多くの花は望めませんが秋口までには水面に映る涼しげな花を何度か見たいと思っています。春に株分けが可能です。ご希望の方は声を掛けて下さい。



【ISO14001掲示板】 今月は環境問題を引き起こしている物質 マイクロプラスチック<MicroPlastics>について

●考：NHK クローズアップ現代/NEWSWATCH9

皆さんも、マイクロプラスチックという言葉をお聞きになったことがあると思います。、主に海洋を漂流するうち、5ミリメートル以下に細かく砕けたの微細なプラスチックゴミのことです。表面に有害物質が付着しやすく、魚などが体内に取り込むと生態系に影響を及ぼすおそれがあることから、世界各地でマイクロプラスチックによる海洋汚染が問題視されています。

「マイクロプラスチック」の深刻な生態系への影響や汚染と取組みについて調べてみました。

化学物質の運び屋 私たちの生活の中で広く使われているプラスチック。それが粉々に砕け、世界中の海に漂っています。その数、推計5兆個以上。最新の研究では、マイクロプラスチックが海水中の有害物質を濃縮させさまざまな生物の体内に取り込まれていることが明らかになってきました。これらは、たんなるプラゴミではなく、**化学物質の運び屋**です。私たち人間にも影響が心配されるマイクロプラスチック汚染とわ。

日本近海の現状 人口が多く、廃棄物管理のインフラが整備されていないアジアの国々は多くのゴミを出すため、中国、インドネシア、フィリピンなど、アジアの国々から大量のゴミが海へと流出。それが粉々になりながら日本近海へと流れてきおり、**日本の周辺は密度が高い**といわれています。

マイクロビーズ プラスチック処理の遅れだけが汚染源と限りません。先進国の新たな発生源として、肌の古くなった角質や汚れを除去する作用があるとされる、直径が0.5ミリ以下のプラスチック粒子、マイクロビーズが洗顔料・歯磨き粉・化粧品などに広く用いられています。

マイクロビーズには毒素や汚染物質などを吸収する性質があり、有害物質を含んだマイクロビーズを魚などが食べ、それを人間が食べることから、環境、健康面での問題が指摘されてきている。



生態系に忍び寄る脅威 石油から出来ているプラスチックは、油に溶けやすいPCBなどの有害物質を表面に吸着させる働きを持っています。

ある研究によると、東京湾のイワシ、64匹中49匹から平均3個のマイクロプラスチックが見つかりました。

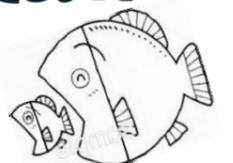
小魚がマイクロプラスチックを取り込むと、それを食べる魚に有害物質が蓄積されます。**食物連鎖の中で、有害物質は濃縮されていく**と考えられます。

マイクロビーズのようなさらに小さなプラスチックの場合、食物連鎖の底辺にあるプランクトンまで、体内に取り込むことが確認されています。

食物連鎖による有害物質の濃縮 プラスチックを含んだ魚を私たちが食べたとしてもプラスチック自体は排泄されますがプラスチックが汚染物質を吸着し濃縮した、汚染物質は排せつされずに、私たちの脂肪に溶け込んで体内に入ってしまう。これまでの研究で、PCB、DDTといった有害物質がマイクロプラスチックに吸着されていることが確認されています。

メダカに有害な化学物質を吸着させたプラスチックを3か月食べさせ続けると、**肝臓に腫瘍、あるいは肝機能障害が起こる**ことが、アメリカの研究者によって報告されております。

プラスチックを通した有害物質のヒトへの影響は観測されておられません。食物連鎖の頂点にある人間にいずれ害を及ぼすことは明らかです。



次回は脱プラスチック社会